

総務経済委員会 報告

1. 委員構成

委員長：上田 朋和

副委員長：中川 敬雄

委員：南出 貞子、辰川 志郎、中谷 喜英、今津 和喜夫、林 俊昭、川下 勉
高辻 伸行（令和5年2月退任）

2. 審査及び調査期間

令和3年11月1日～令和5年9月27日

3. 委員会等開催状況

	委員会 (会期中)	委員会 (閉会中)	委員協議会	意見交換会	現地視察	行政視察
令和3年	2回	1回	1回	0回	0回	0回
令和4年	5回	8回	0回	0回	2回	1回
令和5年	4回	7回	2回	1回	1回	1回
合計	11回	16回	3回	1回	3回	2回

4. 議決状況

	議案付託			結果						
	条例	報告	その他	議決 件数	可決		承認	継続	否決	その他
					全会 一致	賛成 多数				
令和3年	1		4	5	5					
令和4年	36	1	16	53	52		1			
令和5年	13	1	6	20	18	1	1			
合計	50	2	26	78	75	1	2			

5. 議案付託以外の協議事項件数

31件（令和3年：5件、令和4年：13件、令和5年：13件）

6. 現地視察

- 令和4年4月14日：山代スマートパーク
- 令和4年9月21日：市道A第450号線、市道A第451号線
- 令和5年3月23日：市道C第600号線



▲山代スマートパーク



▲市道C第600号線

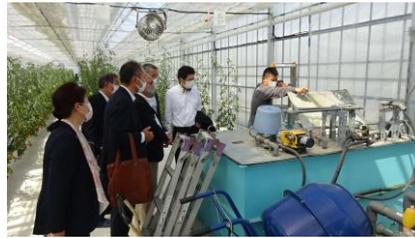
7. 行政視察

令和4年5月17日～19日

- 東京ポートシティ竹芝：スマートシティの取組について
- 長万部アグリ株式会社：先進的農業生産システムを活用したミニトマトの生産について
- 北海道北斗市：SDGsの取組について



▲東京ポートシティ竹芝



▲長万部アグリ株式会社



▲北海道北斗市

令和5年5月15日～17日

- 秋田県能代市：次世代エネルギーについて
- 秋田県横手市：移住・定住促進施策について
- 秋田県湯沢市：地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について、地熱開発について



▲能代市 洋上風力発電



▲横手市



▲湯沢市

8. 今任期の調査・研究テーマ

～加賀市デジタル技術の活用による持続可能なまちづくり条例の策定～

本委員会では、人口減少からの脱却に向け、デジタル技術の活用によるまちづくりを推進することによって、市民が幸せに暮らし続けることができる持続可能な地域社会を実現することを目的とした「デジタル技術の活用による持続可能なまちづくり条例」の策定に向けて、条例策定会議を6回、委員協議会を2回、意見交換会を1回開き、調査・研究を進めてきた。

これまで、加賀市における課題等を把握し、市当局と協議を重ね、加賀商工会議所、山中商工会との意見交換を行い、条例内容について検討してきた。さらに、金沢大学法科大学院の専門的知見からの助言を受けながら、パブリックコメントを実施した上で、条例案をまとめてきた。

条例案は、総務経済委員会として令和5年9月定例会で条例提案することで意思決定した。

次期委員会では、この条例をより実効性の高いものとするよう、市当局と調整しながら一層の取組を進めていくことを期待する。



▲意見交換会

9. 審査及び調査の結果

本委員会では、78件の議案付託案件及び31件の議案付託以外の協議事項について審査及び協議を行った。

付託案件では、加賀市駅前広場条例の一部改正や加賀温泉駅駐車場条例、加賀市イノベーションセンター条例の一部改正、消防ポンプ自動車の物品購入契約などについて、市当局と活発な議論を行い、議案審査を行ってきた。

また、議案付託案件以外の主なものとしては、当初予算編成方針、加賀市中期財政計画令和4年度時点修正版、令和5年度組織及び所掌事務の見直し、山中温泉ゆけむり健康村再生などについて協議を行ってきた。

先端技術を活用できる人材を育成するとともに、市が推進する施策に対して市民が理解・関心を深め、かつ、デジタル技術を活用した地域づくりに関して、施策への積極的な参画が図られるよう、市当局が行う施策や方向性を注視しながら積極的に意見や提案、提言等を行っていくべきである。

これらを踏まえ、次期委員会でも、スマートシティへの取組やデジタル人材の育成、未来型商業エリアなど、加賀市にとって重要な課題・事業に対して活発に協議、検討を行い、市当局に対して施策の提案等を行っていかなければならない。